

平成 31 年 4 月 11 日

各 位

水理公式集は、土木学会水理委員会（現・水工学委員会）において昭和 24 年に第 1 版が誕生しました。以来改訂を重ねて、今回 7 回目の改訂編集版として「水理公式集 2018 年版」を発刊します。平成 25 年に改訂を企画、水理公式集編集小委員会（別紙）を立ち上げ、前回改訂（平成 11 年）から 19 年経過した間の水工学における学問と技術の目覚ましい進展を体系的に融合し、実務や研究の展開などで必要となる「集約された情報」を公式集として整理、解説しました。その目次構成は以下となります。

- 第 1 編 水文・水理
- 第 2 編 河川・砂防
- 第 3 編 ダム
- 第 4 編 水資源と上下水道
- 第 5 編 海岸・港湾
- 第 6 編 流域圏環境

水理公式集のユーザーとしては、(1)計画・設計などにおいて「公式」を利用いただく実務者、(2)基準、マニュアル・ガイドライン作成の拠り所を期待する行政、(3)基礎研究の実用化の基準や自分の専門領域から少し外れたところの情報に期待する研究者、(4)学生においては卒業論文・修士論文の作成や実学に触れる場面を想定しております。

どうぞ、技術者、行政関係者、研究者の必携の書としてお役立て頂きたい、よろしく願い申し上げます。

土木学会水工学委員会・水理公式集編集小委員会委員長 辻本哲郎

土木学会 水工学委員会水理公式集編集小委員会 委員構成
(平成 30 年 4 月 1 日現在)

委員長 辻本哲郎 (名古屋大学名誉教授)
幹事長 清水義彦 (群馬大学)
編集幹事 泉 典洋 (北海道大学)
後藤仁志 (京都大学)
関根正人 (早稲田大学)
立川康人 (京都大学)
知花武佳 (東京大学)
戸田祐嗣 (名古屋大学)
主査 沖 大幹 (東京大学)
萱場祐一 (土木研究所)
後藤仁志 (京都大学)
角 哲也 (京都大学)
寶 馨 (京都大学)
田中宏明 (京都大学)
中川 一 (京都大学)
中北英一 (京都大学)
二瓶泰雄 (東京理科大学)
箱石憲昭 (土木研究所)
藤田光一 (国土技術政策総合研究所)
古米弘明 (東京大学)
細田 尚 (京都大学)
間瀬 肇 (京都大学名誉教授)